

いわみざわ 市議会だより

GIKAI GUIDEBOOK

No.140

2024.8.1



TOPICS ~今月の内容~

質問項目・一般質問	P2
一般質問	P3～P6
審議結果・政務活動費	P7
議会日誌・所管事務調査など	P8～P9
意見交換会、編集後記など	P10



日の出小学校6年生のみなさんが見学に！

社会科の授業で「政治」や「議会」について学習中の6年生。議場の見学に来られました。「きれい」「広い」「カッコいい」など、元気な声が議場に響きととても賑やかでした。

「市議会だより」カラー版はこちらから



一 般 質 問

第2回定例会において、市の施策の状況や方針について、14名の議員が市長、教育長などに対して一般質問を行いました。誌面の都合上、要約し掲載します。

6月21日（第2号）

一般質問

市民クラブ 宮下 透 議員
みどりの会 松本 一郎 議員
民優会 日向 清一 議員
みどりの会 河合 清秀 議員
市民クラブ 木村 光宏 議員

6月24日（第3号）

一般質問

市民クラブ 坂井 秋子 議員
市民クラブ 新井 優也 議員
民優会 大和 勝 議員
市民クラブ 武田 貞行 議員
民優会 坂井 照美 議員

6月25日（第4号）

一般質問

公明党 齊須 正友 議員
日本共産党議員団 山田 靖廣 議員
日本共産党議員団 上田 久司 議員
市政クラブ 石黒 武美 議員

質問項目の詳細につきましては、発言通告書をご覧ください。



市民クラブ

宮下 透



市長選挙に向けての思いについて

【質】 3期務めた中でのまちづくりに対する評価

【答】 【市長】 主な取組と成果として、1点目は、災害等の教訓を糧とした、安全・安心な市民生活の確保。

避難所等の電源対策、新庁舎や消防庁舎の整備、学校の耐震化、迅速で機動的な道路除排雪、高齢者等への冬の暮らし支援や豪雪パトロール、空き家対策等。

2点目は、総合戦略の推進。こども子育て広場「えみふる」を拠点とする子育て支援、スマート農業を核とする農業DX事業、全国の自治体で初認定を受けた「健康経営都市宣言」、「書かない窓口」等スマート・デジタル自治体などの先進的な事業展開。

3点目は、行財政改革の推進。持続可能な財政運営の確立と職員力の向上。

【質】 次期での市政に対する取組の思いについて

【答】 市役所は市民の役に立つ所として「市民生活の質の向上」と「地域経済の活性化」を大きな目標に市政に取り組んできた。次のステージに挑戦したいとの思いで4期目への出馬を表明させていただき、未来の岩見沢市に重要と考える施策を「元氣八策²⁰²⁴」にまとめた。

新市立総合病院の建設に向けた取組等、行政課題が山積する中、未来のあるべき姿を見据え、中長期的に進めるべきことを見定めながら歩みを進めるバックキャストینگ、フューチャープルの視点で、オール岩見沢、チーム岩見沢で、市政に取り組みたい。



みどりの会

松本 一郎



岩見沢市の「SDGs」について

【質】 公共道路施設「道の駅」の整備と「SDGs」

【答】 【市長】 道の駅の設置には、建設費等多額の初期費用が必要となり、管理運営にも公費の投入が前提となる。冬期間の集客が大幅に減少するなど厳しい経営環境に置かれ苦慮している道の駅も多いと認識している。北海道特有のマイナス面や当市の現状も慎重に見極めて判断していく必要がある。

なお、当市は観光協会と連携しインターネットによる情報発信や販売、複合駅舎内の店舗や札幌圏など道内外でのイベント出展を通じ観光資源や特産品等のPR・販売を行い、岩見沢の魅力発信に取り組んでいる。

【質】 新病院と「SDGs」

【答】 本年4月から医師の時間外労働に対する上限規制が適用され、医師など特定の職種の業務を他の職種に移管、共同する取組の重要性が高まっている。

市立総合病院では、平成22年度に勤務医の負担軽減計画を策定して取組を進めている。看護師が医師による手順書を元に行う診療の補助は、研修を受講した職員の活用に向けた体制づくりに取り組んでいる。

医師以外でも、業務の一部を看護師から薬剤師へ移管したほか、本年3月には入院セットの貸与等を民間事業者へ委託し、病棟看護師の負担を軽減する業務改善に取り組んでいる。今後も効率的な職員配置と働きやすい職場環境の構築に取り組みたい。



民優会

日向 清一



部活動の地域移行について

質 文化系の部活動の地域移行について、教育委員会としてどのようなビジョンを持っているか

答 【教育長】教育委員会では、文化系、スポーツ系を問わず、どの学校に通っていても子どもたちが望む活動ができることを目指しており、今年度は、吹奏楽において拠点校方式による部活動を設置したため、文化系の部活動においても将来的な地域移行を目指して、実施方法を模索していきたい。

また本年5月には、文化やスポーツ団体、教育関係者、PTA、経済団体など、幅広い分野の方々と構成する「岩見沢市芸術文化・スポーツ環境推進協議会」を設置し、芸術文化・スポーツの持続的な活動環境の確保を将来像として掲げ、協議していくこととしている。協議会では、子どもたちの芸術文化・スポーツのより良い環境の構築を最優先に取り組む予定であるため、協議会における検討内容も参考にしながら、段階的に地域移行を進めていく。

質 部活動の受け皿となり得る団体への運営に関する支援についてどのように考えているか

答 協議会において、運営団体の設置や運営財源をはじめ、移動手段や指導者の確保など、様々な課題に関する協議を行う予定であり、その内容を踏まえて、支援の必要性を検討していく。



みどりの会

河合 清秀



安全安心な医療の提供について

質 新病院建設において、建物の外観・館内・診療科目・ベッド数を含め大胆な見直しが必要と考えるが、見直しの基本的考え方について

答 【市長】適正規模の検証には、入院や外来の患者数が重要な要素となるため、直近の患者数や、最新の将来推計人口を踏まえた患者推計を行った上で、病床数のみならず諸室数の再検証を行っている。また、施工予定者やCM業者等より技術提案を受けながら新病院に必要な医療機能を維持した上で、可能な限りコンパクトな施設規模となるよう検討を進めている。

質 現状では将来の財政に大きな影響が出る予想が予想される、立ち止まりゼロから考える必要について

答 道内建設業を取り巻く環境を踏まえると、ゼロから検討を再開する場合、事業費のさらなる増加や、実績と技術力のある施工業者の参画が難しくなることが予想され、結果として新病院の建設を見送らざるを得ないことにもつながる。さらには患者も医療スタッフも本圏域から離れ、これまで本圏域内で完結していた地域医療が維持できなくなる可能性がある。そのため、本圏域における持続的な地域医療の確保に向けては、現状のスケジュールを進めることを優先すべきとの考えのもと、実施設計段階において施設規模の検証を行い、同時に病院経営や市の財政に与える影響もしっかり検証した上で、本プロジェクトを進めたい。



市民クラブ

木村 光宏



震災発生時の被害想定とその取組について

質 上下水道施設の被害想定

答 【市長】北海道が公表した「平成28年度地震被害想定調査結果報告書」では、震度6強の地震が発生した場合、上下水道は被害箇所が1千88か所、地震直後に3万1千578世帯・7万4千899人が断水となり、1日後は2万3千584世帯・5万5千939人、2日後は2万3千277世帯・5万5千210人に減少すると想定され、下水道は被害延長が42キロメートル、利用に支障が生じる世帯数が2千919世帯・6千923人と想定されている。

質 上下水道施設の耐震化の取組

答 現時点で上下水道施設では配水池8か所中6か所が耐震化済みであり、送・配水管の基幹管路延長約100キロメートル中、約28キロメートルが耐震化を完了している。下水道施設では震災時における国道や道道などの緊急輸送路に埋設されている横断管路147メートルが、道路陥没防止のための耐震化を完了している。各処理場やその他の管路も施設更新時に耐震化に取り組んでいる。今後の取組として、下水道では「送・配水管整備計画」に基づき、総事業費約70億円で基幹管路を含む市内全域の管路約46キロメートルの耐震化に取り組み、下水道では耐震化を含めた改築更新事業を開始しており、今年度より「第2期下水道ストックマネジメント計画」を策定し、国の交付金事業を活用しながら耐震化に取り組んでいる。



市民クラブ

坂井 秋子



小中学校における学習内容の状況について

【質】「手書き」が減少する事による学びに対する影響

【答】「教育長」小学校教育の学習指導要領では全ての学年で「漢字を読み、書き、文や文章の中で使うこと」や低学年の書写では「姿勢や筆記用具の持ち方を正しくして書くこと」など「手書き」を中心とした学習の重要性が示されている一方、タブレット端末の利用により「手書き」の機会が減少することが想定されるため、児童生徒の学びに悪影響がないよう、教育的効果を十分に検討しながら活用していく必要があると考えている。

【質】タブレットと「手書き」の割合と、小中学校での学習への今後の展開

【答】タブレットと「手書き」、それぞれの利点を活かせるよう、小学校の低学年では、姿勢や筆記道具の持ち方を正しくして書くための指導の充実に向け、「手書き」を中心に学習を進めながら、徐々にタブレットを活用するなど、児童生徒の発達の段階に応じて、「手書き」とICT機器をバランスよく取り入れていくことが重要であると考えている。

今後についても、各学校においてタブレット等を効果的に活用しながら、児童生徒に情報活用能力をはじめ、学習指導要領に示された内容を確実に身に付けさせることができるよう、教育環境の整備はもとより、学習指導の充実に努めていく。



市民クラブ

新井 優也



いわみざわ公園について

【質】市長から見た「いわみざわ公園」の現状

【答】「市長」昨年度の入園者は約34万人を数え、今年度も7月にジョインアライブが予定されているなど、公園に賑わいが戻ってきている。

一方、これまで以上に多くの皆様に安全・安心で快適に公園を利用していただくためには、集客に向けた取組の強化や経年劣化等により使用に支障がある施設への対応などの課題もあるものと認識している。

【質】市民要望に対する考え

【答】寄せられる要望には、公園の利便性の改善に関するものや遊具等の施設の破損に関するものがあり、指定管理者と連携し、要望項目の改善に日々、取り組んでいるが、大規模な修繕が必要で時間と費用を要する施設については、使用中止などの適切な処置を行った上で、国の交付金事業なども活用しながら計画的な修繕を行っている。

【質】今後の将来像

【答】さらなる魅力アップの取組として、大正池を有する利根別自然公園と連絡する新たな散策路の整備を進めており、ウォーキングや自然観察など、楽しみ方の幅が一段と広がるものと期待している。

適正かつ計画的な維持管理を行いながら、多くの市民、観光客に訪れていただける魅力あふれる公園として、その機能の向上やサービスの改善に努めていく。



民優会

大和 勝



3期12年間における財政評価と今後の方向性について

【質】市の財政について

【答】「市長」財政状況を評価する上では、指標の動きとその要因を把握し、市債や基金の残高、各種財政指標など、全体を見ることが重要と考える。「中長期財政計画」の進行管理と合わせて、政策的な事業の新規・拡充が経常収支比率に与える影響等も見極めながら、将来を見据えた投資や市民サービスの充実を進めており、市債残高の管理や基金の確保、各種財政指標の面からも、健全な財政を維持できていると考えている。

【質】将来的な財政について

【答】今後人口減少に伴い財政規模が縮小する中、財政運営の持続性を確保する上では「選択と集中」の視点により財政状況の変化にも的確に対応しながら、市民サービスを維持、向上させていく取組がこれまで以上に求められる。「中長期財政計画」では、収支の均衡と将来負担の軽減に向けて、歳入の面では、未利用資産の有効活用や受益者負担の適正化、有利な地方債の活用などにより財源の確保に努め、また、歳出の面では、公共施設の再編や公債費負担の適正化、事務事業のスクラップ・アンド・ビルドなどにより、経常的経費を中心とした削減を目指すこととしている。

特に物件費は経常収支比率における構成比が高く、その中でも「公共施設等総合管理計画」において過剰とされた総量の削減を急ぐ必要があると考えている。



市民クラブ

武田 貞行



小中一貫校と義務教育学校について

【質】小中一貫校での現状と課題について

【答】「教育長」北村・栗沢地域では、昨年度から小中一貫型小中学校が始まり、両地域では、中学校教員が小学校高学年の授業を日常的に行う乗り入れ授業の導入を進め、栗沢地域は、小中合同の運動会を地域の方も参加するスポーツフェスティバルとして開催するなど、小中一貫型小中学校である特色を生かした教育活動を進めている。また、校内研修を合同で実施することや小・中学校の校務を統一することで、連携・協力して指導に当たる意識の高まりや校務の効率化などの報告も受けている。このように、地域の協力や教職員の創意工夫により、9年間を見通した魅力ある教育活動が展開されているが、今後は児童生徒の学習意欲や学力の向上に向けて、引き続き、教育効果を高める工夫が必要と考える。

【質】小中一貫校と義務教育学校の特色について

【答】小中一貫型小中学校は、それぞれの学校に校長や教職員組織が置かれるが、一方、義務教育学校は、小・中学校が一つになった学校のため、一人の校長、一つの教職員組織の下、教育が行われる。どちらの形態も、9年間の系統性を配慮した柔軟な教育課程を編成・実施するという点で違いはないが、小・中学校が一つになり、一つの学校で学ぶ義務教育学校の方が学習及びイベントにおいて相互参加しやすい環境である。



民優会

坂井 照美



市内6小学校の学校プールについて

【質】今後の利用予定について

【答】「教育長」小学校に設置されている学校プールについては、児童数の減少によってプールの利用機会が少なくなったほか、水質管理や監視を担う人材の確保が難しくなってきたこと、老朽化への対応、維持管理コストの節減などの観点から、学校やPTAなどへの説明を行い、令和3年度までに全ての学校プールを閉鎖している。

閉鎖にあたっては、事故防止などの安全対策として、プールへの進入を防止する封鎖措置を講じたほか、定期的な草刈りや見回りを実施するなどの対応を行ってきた。

今後の学校プールの利用については、利用機会の減少や人材確保が困難な状況などの理由からも、改めて再開することは難しいと考えている。

【質】今後利用しない場合、解体撤去等を考えているか

【答】早期に解体を進めたいと考えているので、現在進めている教職員住宅の解体撤去の進捗状況を勘案しながら、実施時期を検討していく。



公明党

斉須 正友



町内会・自治体のデジタル化について

【質】これまでとは異質な課題の認識について

【答】「市長」令和5年度、町会連合会が実施した岩見沢市単位町会基本調査で、最も回答が多かったものが役員のなり手不足、次いで役員の高齢化である。課題は結果からも明らかであり、コロナ禍によりつながりが薄れ、地域の希薄化が進んだと認識している。

【質】デジタル化の現状について

【答】町会連合会ではHPにおいて情報発信をし、Eメールによる問合せや相談を受け付け、また、昨年度より町連役員や事務局間の連絡についてもソーシャルメディアの活用を開始している。各町会においてもソーシャルメディアを活用している町会が増加してきている。市では、町会役員等にEメールで災害情報が届くようにし、昨年10月より市民向けに地図情報の提供を開始した。

【質】デジタル化の検討について

【答】町連と市で連携を図り、昨年度より市が出前講座を実施しているほか、昨年度から町会長に対し講座を実施している。しかしながら、一度に全てをデジタル化するというのは困難であるため、まずは町会と市との手続きの電子化に関し、町会役員の方々の負担軽減に資する環境づくりを進めるほか、出前講座等を引き続き実施しながら、課題解消や利便性向上に向け、町会の方々と一緒に検討していきたい。



日本共産党議員団
山田 靖 廣



マイナ保険証について

【質】マイナンバーカードの取得数及び今後の取組等について

【答】「市長」令和5年度の交付状況は、累計枚数が6万156枚、交付率は78・4％となっている。

国の方針に基づき、丁寧な説明や出張申請受付の実施のほか、「特急発行・交付」に必要な準備や、カードの電子証明書更新等の住民ニーズに対応する。

【質】集中取組期間への対応及び利用率について

【答】従来から市立総合病院内でポスター掲示や受付窓口でチラシ配布を行うなど、マイナ保険証の利用の周知を行っている。令和5年度の利用者数は6千551人、患者数の約8％の利用割合。

【質】「マイナ保険証」利用に伴うトラブル等について

【答】市立総合病院では資格確認ができないといったトラブル等はなく、スムーズに稼働し運用している。

【質】国民健康保険証の資格確認書の対応について

【答】加入者に安心して保険診療を受けていただけるよう、12月2日以降、必要とされる方に対し、資格確認書を発行する。

【質】マイナ保険証の完全実施の中止もしくは再検討を求めることについて

【答】国においては国民が安心して利用するための取組を進めているところであり、国に対して中止や延期を求めることは考えていない。



日本共産党議員団
上田 久 司



日曜・祝日の学童保育について

【質】多様化する勤務状況の実態について

【答】「市長」市では、20か所で放課後児童クラブを運営している。

本年5月末現在の放課後児童クラブの利用登録児童は940人、そのうち、日曜日に保護者が働いている児童の数は、両親ともに働いている児童が18人、ひとり親家庭の児童が5人、合わせて23人となっている。

【質】日曜・祝日勤務者の小学生の保育を行えるよう改善すべきでは

【答】令和5年度の放課後児童クラブ、保育園における休日の利用実績は、放課後児童クラブにおける土曜日の開設日数は50日、利用人数は延べ1千300人、1施設・1日当たり1・3人となっている。

また、保育園（1園）での日曜日の開設日数は52日、利用人数は延べ122人、1日当たり2・3人であり、祝日の開設日数は16日、利用人数は延べ112人、1日当たり7人となっている。

日曜日の保護者の勤務状況とこれらの利用状況から、日曜・祝日の放課後児童クラブの利用ニーズは多くないものと予想される。

さらに、これまで市に対し日曜・祝日における小学生の利用について要望はなく、仮に実施する場合、財源だけでなく人材の確保など課題も多いことから、現時点では難しいものと考えている。



市政クラブ
石黒 武 美



今後の稲作農家数の見通しについて

【質】今後の稲作農家の見込みについて

【答】「市長」稲作農家に限って推計された数値はないが、令和5年度に北海道立総合研究機構が公表している当市における農業全体の個人経営体の将来推計値は、2020年の76戸に対し、2030年は34・9％の減で49戸、2035年は48・4％の減で39戸となっており、世帯員数では2020年の2千800人に対し、2030年は42・3％減の1千615人、2035年は56・8％減の1千208人となっている。

【質】新たな支援策について

【答】農業者が今後も営農を継続するうえで、生産性の向上と所得の確保が必要であり、当市においては、農作業の効率化・省力化、さらに収量・品質の高位平準化に資するスマート農業や土づくり、農業基盤整備などの各種施策を着実に進めており、今後も取組を継続、深化させる。

また、現状の米価は上向いているが、生産コストの高止まりに対応した価格形成に反映されておらず、持続的な供給に要する合理的費用を考慮した生産過程への適正な価格転嫁が求められる。

引き続き、「食料・農業・農村基本法」に基づく新たな法制度に関する国の動向を注視するとともに、新制度を活用した取組の推進について、関係機関と連携し、国に要望する。

令和6年第2回定例会（6月17日 ▶ 6月28日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
報告第1号	専決処分した事件の承認について（岩見沢市税条例の一部改正）	承認
議案第31号	岩見沢市恩給条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決
議案第32号	岩見沢市手数料条例の一部改正について	//
議案第33号	岩見沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例並びに岩見沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	//
議案第34号	岩見沢市福祉医療費助成に関する条例の一部改正について	//
議案第35号	岩見沢市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正について	//
議案第36号	工事請負契約の締結について（上幌5号線道路改良舗装工事）	//
議案第37号	市道路線の認定について	//
議案第38号	令和6年度岩見沢市一般会計補正予算について（第2号）	//
議案第39号	令和6年度岩見沢市特別会計高等学校費補正予算について（第1号）	//
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について【岡田 博教氏】	同意
意見書案第5号	厳しい農業情勢を打開する基本計画策定と関連法案について	原案可決
意見書案第6号	道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育について	//
意見書案第7号	児童生徒の教育環境を整備する教育予算確保・拡充について	//
意見書案第8号	災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援について	//

※可決した意見書案・決議案の全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

第2回定例会まで提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配付されました。

- 食料自給率向上を政府の法的義務とすることを求める意見書について
- ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書について
- 厳しい農業情勢を打開する基本計画策定と関連法案を求める意見書について

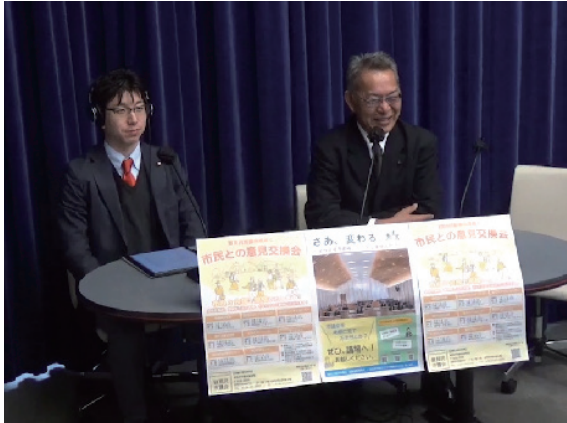
令和5年度の政務活動費収支報告書を掲載しました。

令和5年度の政務活動費について、会派ごとの収支報告書を市議会ホームページに掲載しております。
また、市役所本庁、有明交流プラザ、北村支所、栗沢支所の情報公開コーナーでも閲覧できます。

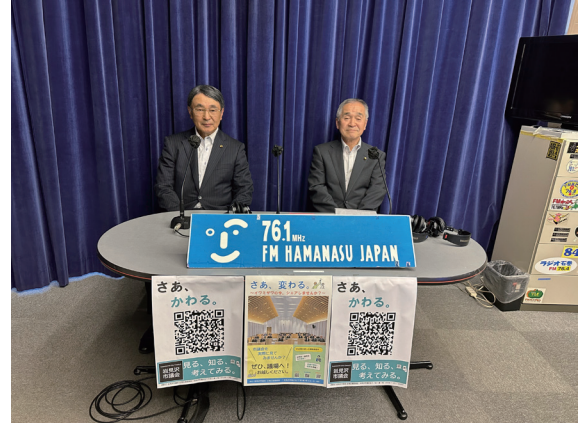


FM はまなすに出演させていただきました。

令和6年5月8日（水）、6月19日（水）の両日、“あらいゆうや no FRONTROOM” に出演し、「市民との意見交換会の開催」及び、「第2回定例会の開催」を紹介させていただきました。



「市民との意見交換会の開催」について
令和6年5月8日（水）
動画はこちらから！→



「第2回定例会の開催」について
令和6年6月19日（水）
動画はこちらから！→



インフォメーション



市議会では定例会の他にも、委員会や研修会など、さまざまな活動が行われています。

4月～6月までの3か月の市議会の活動をお伝えします。

4月

4月

- 11日 ・広報広聴委員会 ・広報広聴委員会（議会だより作業部会）
・広報広聴委員会（意見交換会作業部会）
- 16日 ・各派代表者会議 ・委員会正副委員長会議
- 18日 ・総務常任委員会 ・議会運営委員会
- 24日 ・広報広聴委員会（議会だより作業部会） ・広報広聴委員会（意見交換会作業部会）
・広報広聴委員会
- 25日 ・新病院建設特別委員会

5月

- 8日 ・民生常任委員会
- 9日 ・経済建設常任委員会 ・幹事長会議
- 11日 ・岩見沢市議会議員と市民との意見交換会
- 12日 ・岩見沢市議会議員と市民との意見交換会
- 18日 ・岩見沢市議会議員と市民との意見交換会
- 30日 ・経済建設常任委員会

6月

- 5日 ・総務常任委員会
- 7日 ・民生常任委員会
- 14日 ・議会運営委員会
- 17日 ・第2回定例会（第1号） ・議員会役員会 ・林活議連役員会
・広報広聴委員会 ・広報広聴委員会（議会だより作業部会）
- 21日 ・第2回定例会（第2号）
- 24日 ・第2回定例会（第3号）
- 25日 ・第2回定例会（第4号）
- 26日 ・総務常任委員会 ・民生常任委員会 ・経済建設常任委員会
- 27日 ・会議規則等改正検討委員会
- 28日 ・議会運営委員会 ・第2回定例会（第5号） ・広報広聴委員会 ・広報広聴委員会（議会だより作業部会）
・広報広聴委員会（主権者教育作業部会）

議会日誌



所管事務調査 が行われました！



防災備蓄品について



緑陵高等学校

総務常任委員会

〈所管部署〉

・総務部・会計室・選挙管理委員会
事務局・監査委員事務局・企画財政部
・情報政策部・教育委員会

各委員から
こんな質問が出ました！

春の 所管事務調査とは？

毎年6月頃、各常任委員会では各担当部署よりそれぞれの役割、新たな取組などについて説明を受け、質疑を行います。

また、必要に応じて各常任委員会の所管であります市内の施設等へ実際に視察に行きます。一日を通し得たものをその後委員会活動、他都市調査地検討などへ役立てております。

*各常任委員会は2年に1度、委員の改選が行われます。

- シティプロモーション推進事業について
- 主権者教育について
- 防災訓練について
- 市有財産について
- 税目別市税課税状況について
- 行政サービスの利便性向上に関すること
- テレワークセンターの利用状況について
- 学校教育施設空調設備整備事業について
- 教育研究所運営事業及び学力向上対策事業について
- 市政地区懇談会について
- 姉妹都市交流事業について
- 休職、育児休業職員等の状況について
- 月形線廃止に伴う代替交通の確保等について
- セキュリティ対策について
- DXの取組について
- 岩見沢郷土科学館管理事業について
- 芸術文化・スポーツ交流創出事業について
- 栗沢地区における義務教育学校の設置について

民生常任委員会

〈所管部署〉

・市立総合病院・市立栗沢病院
・健康福祉部・市民環境部



委員会室にて

各委員から
こんな質問が出ました！

- 新病院適正規模の検証について
- 男女共同参画の推進について
- マイナンバーカードの普及促進
- 国民健康保険料の未納滞納対策について
- 不法投棄対策の強化について
- ごみ処理の歳入及び歳出状況
- ごみの減量化について
- 空き家の対応について
- 交通安全対策について
- 地域支援事業について
- 新型コロナウイルスワクチン接種対策事業について
- 出産時の医療機関について
- 健康寿命延伸事業について
- 介護サービス利用者負担軽減事業の廃止について
- 健康ポイントアプリについて
- 栗沢病院の今後の在り方について

経済建設常任委員会

〈所管部署〉

・農政部・農業委員会
・経済部・建設部・水道部



除雪機械車庫視察



大正池視察

各委員から
こんな質問が出ました！

- 観光資源の開発に向けた動きについて
- 物流関係企業の進出における支援について
- 稼げる地域経済づくりに対する考え方と実績について
- 中心市街地活性化の取組について
- ワークショップ等に対する支援実績について
- ポルタビルの利活用促進について
- メープルロッジサウナ施設の今後の展望について
- 映画ロケ地としての経済効果について
- ロケ地としての現状評価と今後の撮影予定について
- ワインを活用した地域活性化について
- 競馬場等施設の管理について
- 地産地消等所得向上対策の推進について
- 都市と農村の交流について
- ばらのまちづくり推進事業
- 回遊促進の取組について
- いわみざわ公園バラ園の活用について

市民との意見交換会 が開かれました

5月11日(土)・12(日)・18日(土)

全8か所(南部連合会館、日の出コミュニティセンター、南コミュニティセンター、緑が丘連合会館、北ふれあいセンター、幌向総合コミュニティセンターほっとかん、北村環境改善センター、栗沢市民センター)にて、議員各3名と来場いただいた皆さんと身近な課題等多岐にわたる意見交換をさせていただきました。今後、市議会ホームページで、意見交換会の報告書を公開させていただきます。また、頂戴いたしましたご意見も大いに参考にさせていただくと同時に、これからより良い岩見沢市を目指し努力を重ねて参ります。



日の出コミュニティセンター



南コミュニティセンター



緑が丘連合会館



北ふれあいセンター



幌向総合コミュニティセンター



北村環境改善センター

たくさんの
ご意見をいただきました！



- バスの便数が減少し不便。コミュニティバスなどの対策をしては？
- 空き家が増えてきている。対策を見直しては？
- 新病院の規模がどうなるのか？
- 人口増減施策としての企業誘致をしっかりと行っていくべきではないか。
- 10年後、20年後を見据えたまちづくり(コンパクトシティ)への考えは？
- 町内会の役員なり手不足について
- 信号機設置について
- 除排雪について
 - ・雪山が高すぎて車の合流が危険である。
 - ・課題解決の検討をお願いしたい。
 - ・バス路線とそうではない路線の排雪の条件を同じにしてもらいたい。

※南部連合会館は、写真の撮影を行っておりません



その他の質問、また質問に対する返答などにつきましては、市議会HPにて各会場の報告書とともに掲載しております。



編集後記

5月に実施した市民との意見交換会では、幅広い年代の方々から貴重なご意見をいただきました。ご参加いただき、ありがとうございました。

岩見沢市議会は、このような意見交換会や議会だより・SNSを活用した情報発信等の取組を通じ、「開かれた市議会」を目指しております。岩見沢市議会の活動について、少しでも興味を持っていただければ幸いです。

議会広報広聴委員会委員 野尻 清

議会広報広聴委員会

委員長 宮下 透 副委員長 大和 勝

委員

新井 優也 枝廣 晴基 坂井 秋子
野尻 清 猪口 満雅 山田 靖廣
松本 一郎

今回の定例会
のご案内



令和6年第3回定例会は

9月下旬

開会予定です。